

2023年度 児童発達支援 自己評価 集計結果



公表日: 令和5年12月21日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓		仕切りを置き、落ち着ける環境を作っている。 音が気になるお子さんはフロアを変える等の配慮もできている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	✓		曜日、時間によって差はあるが、フリースタッフが いる。 個別療育ではサポートスタッフを配置し、複数で 対応しているケースもある。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	✓		1階トイレは車いすでも利用できる。 1階は広く、車いすの方も利用しやすい。 ブース内は構造化されている。	階段に手すりがないところもある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	✓		毎日換気、清掃、消毒をしている。 児童にあった机やブースのセッティングを行って いる。 活動内容によってはマットやじゅうたんを用いて いる。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	✓		毎日、打ち合わせと振り返りを行っている。 他事業所とはメール等で共有している。	非常勤スタッフとの情報共有について、今後は更に深めていけるようにしていく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓		アンケートを取り、改善につなげている。 適宜、保護者の意向を聞き取っている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓		ホームページにて公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		✓	療育面ではスーパーバイザーの研修内で意見を いただく機会を設けている。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓		臨床心理士によるスーパーバイズの他、事業所 内研修を実施している。 外部への研修にも積極的に参加できるよう情報 を周知している。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	✓		要望書等をもとに半年に一度の見直し、計画を 作成している。 保護者と日々のやり取りの中で情報共有をして いる。	
	11 子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓		発達検査の結果シートがある利用者は、それを 利用してアセスメントを行っている。その他、法人 共通の面談シートを使用して初回面談時に実施 している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか	✓		ガイドラインに示されている支援内容から適切な 項目が選択され、具体的な支援計画を作成して いる。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	✓		個別支援計画をもとに実施している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓		グループ療育では事前に打ち合わせを行い、意 見を出し合っている。 職員間でアドバイスを求めたり話し合ったりして いる。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓		調理、運動、制作を取り入れる。 利用者の様子に合わせて工夫している。 季節に合わせた活動も取り入れている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	✓		子どもの状況や課題に応じ、一人一人に合わせ たサービスの提供をしている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓		毎朝の打ち合わせで全体の流れ、職員の動きなどの確認を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	✓		毎日の振り返りで実施している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓		毎回記録を記入し改善につなげている。コピーを保護者にもお渡ししている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	✓		年に2回個別面談を実施し、計画の見直しを行っている。日々の療育や保護者とのやり取りの中で見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓		代表、管理者や担当者等、状況を把握している者が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	✓		保護者を通して行っている。必要に応じて関係機関と連携している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	✓		現状、受け入れはないが利用する場合は法人内では看護師が同席している。必要に応じて保護者と情報共有している。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか	✓		現状、受け入れはないが利用する場合は法人内では看護師が同席している。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	✓		日々の療育の中で保護者と情報共有や連携を図っている。また、必要に応じて情報を提供している。保育所等への訪問を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	✓		日々の療育の中で保護者と情報共有や連携を図っている。また、必要に応じて情報を提供している。保育所等への訪問を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓		各センターが出席している連絡会に参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	✓		法人主催で一般の方も参加できる夏のイベントやコンサート等、インクルーシブ企画として実施している。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	✓		海老名市の自立支援協議会に参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓		記録のコピーのお渡しや報告、連絡帳でのやり取りで共有している。また、必要に応じて電話やメールでも対応している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	✓		希望する方にはペアトレを定期的実施している。心理士によるカウンセリングも随時行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓		契約時・更新時に説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	✓		年に2回モニタリングを行い、支援計画を保護者に提示し、その同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓		毎療育時のフィードバックの時間や連絡帳でのやり取り、メール・電話での対応をしている。また、個別面談や、専門職による相談を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓		懇談会や茶話会等を定期的に開催している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓		苦情相談窓口の掲示と意見箱を設置している。話があった場合は迅速に対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓		定期的に療育便りを発行し、メーリングリストで配信したりホームページに掲載している。イベント等のお知らせは全体へメールで配信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	✓		鍵付きロッカーに保存している。写真利用の意向について保護者に確認している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓		絵カードやスケジュールボード等を利用者に合わせて使用している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓		法人主催で一般の方も参加できる夏のイベントやコンサート等、インクルーシブ企画として実施している。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	✓		各種マニュアルをファイリングし、誰でも閲覧できるよう玄関に設置している。	必要に応じて、リニューアル等をしていく。BCPIについては現在作成中である。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓		年一回以上訓練を行っている。	備蓄品等の取り扱いについて、非常勤スタッフや新規スタッフとも共有できるようにしていく。
	43	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	✓		初回インテーク時に保護者に確認している。適宜、情報共有をお願いしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓		初回インテーク時に保護者に確認している。変更等の情報は、その都度保護者との共有にとめている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓		朝の打ち合わせや振り返りで情報の共有をしている。事業所内に事故対応手順を掲示している。	共有が継続できるような工夫に努めていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓		虐待防止委員会を設置している。職員に資料を配布し、研修等で内容を共有している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	✓		今現在、該当者はいないが、今後やむを得ず身体拘束を行う場合については、組織による決定と個別支援計画への記載をし、本人、保護者等への説明をしていく。	



2023年度 放課後等デイサービス 自己評価 集計結果

公表日: 令和5年12月21日

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
体制・ 環境・ 備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓			仕切りを置き、落ち着ける環境を作っている。 音が気になるお子さんはフロアを変える等の配慮もできている。
	2 職員の配置数は適切であるか	✓			曜日、時間によって差はあるが、フリースタッフがいる。 個別療育ではサポートスタッフを配置し、複数で対応しているケースもある。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	✓			1階トイレは車いすでも利用できる。 1階は広く、車いすの方も利用しやすい。 ブース内は構造化されている。 階段に手すりがないところもある。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	✓			毎日、打ち合わせと振り返りを行っている。 他事業所とはメール等で共有している。 非常勤スタッフとの情報共有について、今後は更に深めていけるようにしていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓			アンケートを取り、改善につなげている。 適宜、保護者の意向を聞き取っている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓			ホームページにて公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			✓	療育面ではスーパーバイザーの研修内で意見をいただく機会を設けている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓			臨床心理士によるスーパーバイズの他、事業所内研修を実施している。 外部への研修も積極的に参加できるよう情報を周知している。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			要望書等をもとに半年に一度の見直し、計画を作成している。 保護者と日々のやり取りの中で情報共有をしている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓			発達検査の結果シートある利用者はそれを利用してアセスメントを行っている。その他、法人共通の面談シートを使用して初回面談時に実施している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			グループ療育では事前に打ち合わせを行い、意見を出し合っている。 職員間でアドバイスを求めたり話し合ったりしている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓			調理、運動、制作を取り入れる。 利用者の様子に合わせて工夫している。 季節に合わせた活動も取り入れている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	✓			利用者の様子に合わせて設定している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			子どもの状況や課題に応じ、一人一人に合わせたサービスの提供をしている。
15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓			毎朝の打ち合わせで全体の流れ、職員の動きなどの確認を行っている。	

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点
適切な支援の提供	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	✓			毎日の振り返りで実施している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓			毎回記録を記入し改善につなげている。写しを保護者にもお渡ししている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓			年に2回個別面談を実施し、計画の見直しを行っている。日々の療育や保護者とのやり取りの中で見直しを行っている。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	✓			創作・余暇活動や身近の自立スキル獲得のための題材等を組み合わせたプログラムを考え、提供している。
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓			代表、管理者や担当者等、状況を把握している者が参加している。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	✓			送迎時(支援学校)に情報共有することがある。保護者からの情報やホームページで確認している。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			✓	現状、受け入れはないが利用する場合は法人内では看護師が同席している。必要に応じて保護者と情報共有している。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	✓			日々の療育の中で保護者と情報共有や連携を図っている。また、必要に応じて情報を提供している。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	✓			必要に応じて情報を提供している。必要な場合には会議にも参加している。(就職先からの依頼)
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓			各センターが出席している連絡会に参加している。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	✓			法人主催で一般の方も参加できる夏のイベントやコンサート、サッカー体験等を実施している。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	✓			自立支援協議会に参加している。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓			日々の療育後に本人の状況を伝えあって情報の共有を図っている。定期的な面談時にも状況の伝えあいを行っている。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	✓			希望する方にはペアトレを定期的にも実施している。心理士によるカウンセリングも随時行っている。	

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓			契約時・更新時に説明を行っている。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓			連絡帳でのやり取りやメール・電話での対応している。また、個別面談や、専門職による相談を行っている。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓			懇談会や茶話会等を定期的に開催している。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓			苦情相談窓口の掲示と意見箱を設置している。話があった場合は迅速に対応している。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓			定期的に療育便りを発行している。イベント等のお知らせは全体へメール配信している。
	35 個人情報に十分注意しているか	✓			鍵付きロッカーに保存している。写真利用の意向について保護者に確認している。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓			絵カードやスケジュールボード等を利用者に合わせて使用している。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓			法人主催で一般の方も参加できる夏のイベントやコンサート等、インクルーシブ企画として実施している。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓			各種マニュアルをファイリングし、閲覧できるよう設置している。必要に応じて、リニューアル等をしていく。BCPIについては現在作成中である。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓			年一回以上訓練を行っている。備蓄品等の取り扱いについて、非常勤スタッフや新規スタッフとも共有できるようにしていく。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓			虐待防止委員会を設置している。職員に資料を配布し、研修等で内容を共有している。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			✓	今現在、該当者はいないが、今後やむを得ず身体拘束を行う場合については、組織による決定と個別支援計画への記載をし、本人、保護者等への説明をしていく。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			✓	初回インテーク時に保護者に確認している。変更等の情報は、その都度保護者との共有につとめている。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓			朝の打ち合わせや振り返りで情報の共有をしている。事業所内に事故対応手順を掲示している。今後、事例集をもとにした研修等の実施を検討していきたい。